

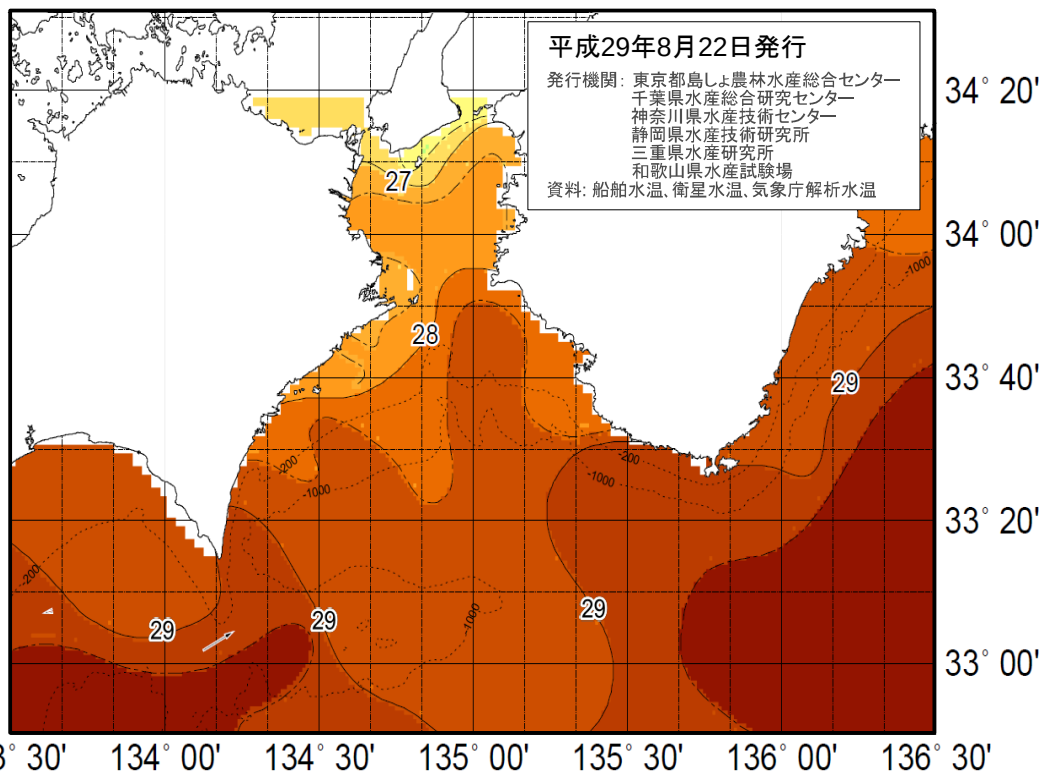
海況

1. 周辺海域の水温

黒潮は、室戸岬沖では「離岸」～「やや離岸」で変動しており、潮岬沖で「著しく離岸」していたが、17日頃から若干北上し「離岸」となっていて、海況図の範囲から外れている。

徳島県沿岸の水温は、播磨灘で26℃台、紀伊水道で26℃～27℃台、海部沿岸で27℃～28℃台となっている。

黒潮本流の表面水温は、平年並みか高めの29℃台となっている。

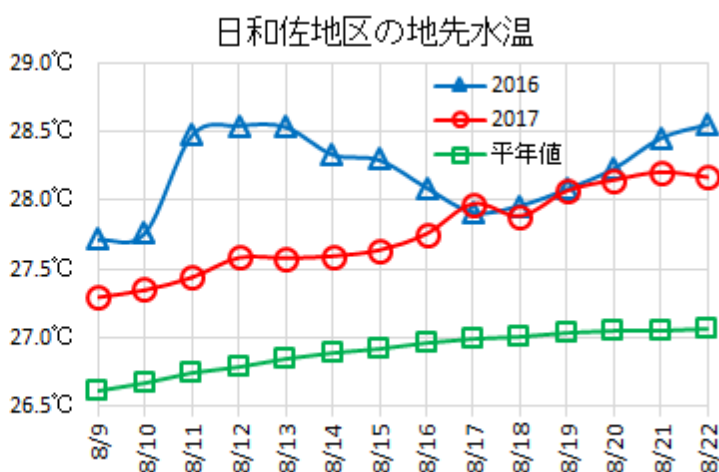
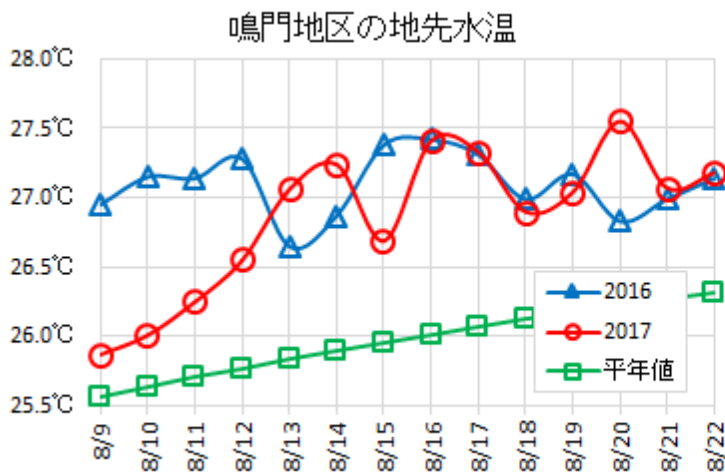


海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

2. 地先水温(8月9日～8月22日)

鳴門地区の地先水温は、11日まで「平年並み」であったが、その後「やや高め」なり、14日には27.2℃まで上昇した。その後は26.7℃～27.6℃で、上下はあったが「やや高め」で推移した。

日和佐地区の地先水温は、「やや高め」の23.3℃～28.2℃で、右肩上がりに推移した。



※水温の高低 平年並：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上
※平年値 鳴門地区：1981年～2015年の平滑平均値、日和佐地区：1982年～2015年の平滑平均値

3. 週間予報(8月23日～8月29日)

黒潮は、室戸岬沖では引き続き「離岸」～「やや離岸」、潮岬沖では再び離岸傾向となり「離岸」～「著しく離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区、日和佐地区とも「やや高め」で、鳴門地区では27℃台、日和佐地区では28℃台前後で推移する見込み。

漁況 2017年8月7日～8月20日（旧暦閏6月16日～6月29日）

先週発行がなかったため、2週間分の集計をおこなった。

1. 紀伊水道(標本漁協数:3)

船びき網では、シラスが10ト水揚げされた。

釣りでは、イサキが0.6ト水揚げされた。

延縄では、ハモが7.6ト、タチウオが特大主体に1.7ト水揚げされた。

小型定置網は、カンパチが1.6ト、マアジが小小主体に1.1ト、マダイが0.9ト、ハマフエフキが大主体に0.7ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが21ト、イボダイが小小主体に0.5ト水揚げされた。

2. 海部沿岸(標本漁協数:4)

延縄では、カサゴが特大主体に0.9ト、アカムツが0.6ト水揚げされた。

小型定置網では、かます類が1.3ト、カンパチが0.6ト水揚げされた。

漁獲量集計表(漁獲が0.1ト以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄
					1日1隻あたり 平均漁獲量	
紀伊水道	船びき網	81	シラス	10,125	125	
	釣り	35	イサキ	611	17	
		10	タチウオ	181	18	特大主体
	延縄	71	ハモ	7,629	107	
		80	タチウオ	1,701	21	特大主体
	小型定置網	45	カンパチ	1,583	35	
		36	マアジ	1,110	31	小小主体
		41	マダイ	909	22	
		31	ハマフエフキ	749	24	大主体
		15	にべ類	659	44	
		34	ブリ	492	14	ぶりサイズ主体
		37	ヘダイ	334	9	
		29	イサキ	321	11	大主体
		30	アイゴ	208	7	
		29	マルアジ	177	6	小主体
	底びき網	37	カワハギ	132	4	大主体
		86	ハモ	21,364	248	
		56	イボダイ	508	9	小小主体
		36	マダイ	250	7	
		49	えそ類	213	4	
44		タチウオ	174	4	特大主体	
海部沿岸	延縄	52	マルアジ	100	2	
		16	カサゴ	869	54	特大主体
		50	アカムツ	625	12	
	小型定置網	26	おおめはた類	101	4	
		17	かます類	1,285	76	
		20	カンパチ	589	29	
		11	ヒラソウダ	308	28	
		15	マアジ	258	17	小小主体
17	マルソウダ	218	13			
7	さば類	173	25	小小主体		

※ 今回は盆休みをはさんだ2週間分の集計なので、前週比は掲載しない。